

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	被災集落支援計画小委員会		主 査 名：河野泰治 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会		委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・中越地震被災地および福岡西方沖地震被災地である玄海島における集落の復興計画および復興への支援。 ・「農山漁村集落における災害復旧支援特別研究委員会」と連携しつつ現地での検討会やシンポジウムの開催。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	河野泰治〔主査〕(福岡大学)、伊藤庸一(日本工業大学)、重村力(神戸大学)、西村伸也(新潟大学)、塩崎賢明(神戸大学)、澤田雅浩(長岡造形大学)、加藤仁美(環境デザイン研究室)、岡田知子(西日本工業大学)、石丸紀興(広島国際大学)、浅井秀子(鳥取短期大学)、寺澤秀忠(一級建築士事務所抄拓)、後藤隆太郎〔幹事〕(佐賀大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無：有(農村計画委員会 HP 内) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 研究会「被災集落の支援のあり方について考える」 参加者数 16 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 能登震災に関して現地自治体と意見交換を行った。 2. 「災害予防・復興支援のための活動基盤整備と行動計画策定特別調査委員会」との意見交換を行った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 公開研究会等を実施し、主として中越地震被災地および福岡西方沖地震被災地の復興や支援に向けてその課題整理等を行った。 2. 能登被災地の現況踏査、玄界島の復興状況の踏査を行った。 ・能登震災緊急調査(2007 年 5 月 2 日-3 日、参加者 10 名) ・玄界島復興事業視察(2008 年 3 月 13 日、参加者 5 名)
委員会活動の問題点・課題	1. 予算等の都合により活動範囲が限定されることとなった。